



※2024年2月全員協議会資料の建物配置イメージ図(⑤街区新庁舎)に私なりに車動線及び歩行者動線を推測して示した図

庁舎へのメインアプローチはデッキから(1F からは EV)。市民対応窓口を低層階に。機械室・その他の機能を上層階に配置。

ペDESTリアンデッキレベル
▽+18.5

地盤面レベル
▽+9.0

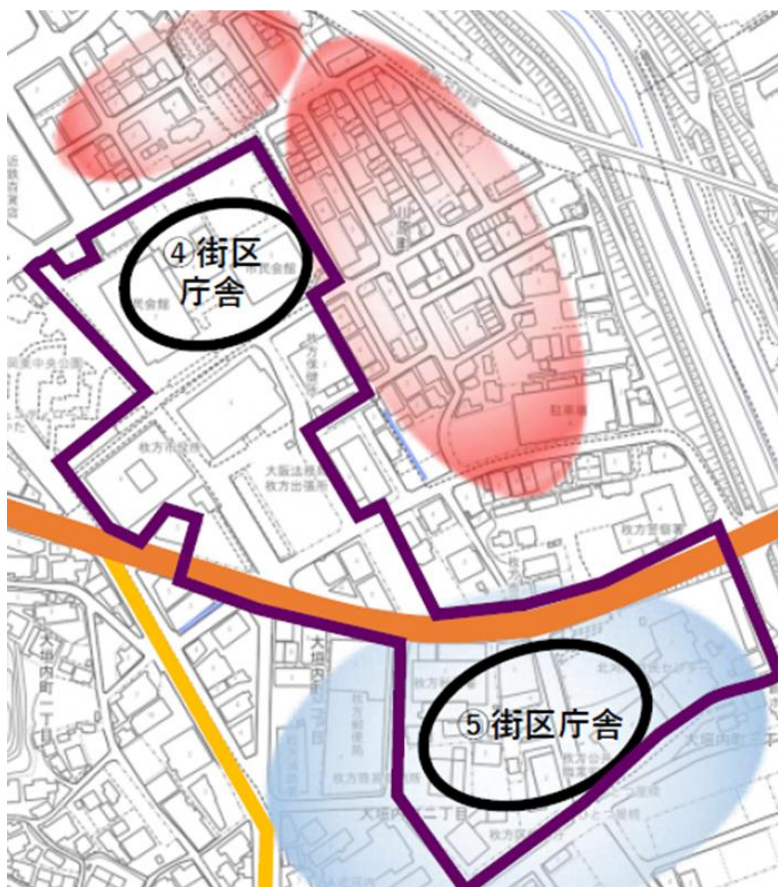
9.5m
(推定)

新庁舎

防水シャッター

1階出入口には防水シャッターを設置。1～3階フロアは浸水時を想定した諸室配置とする。





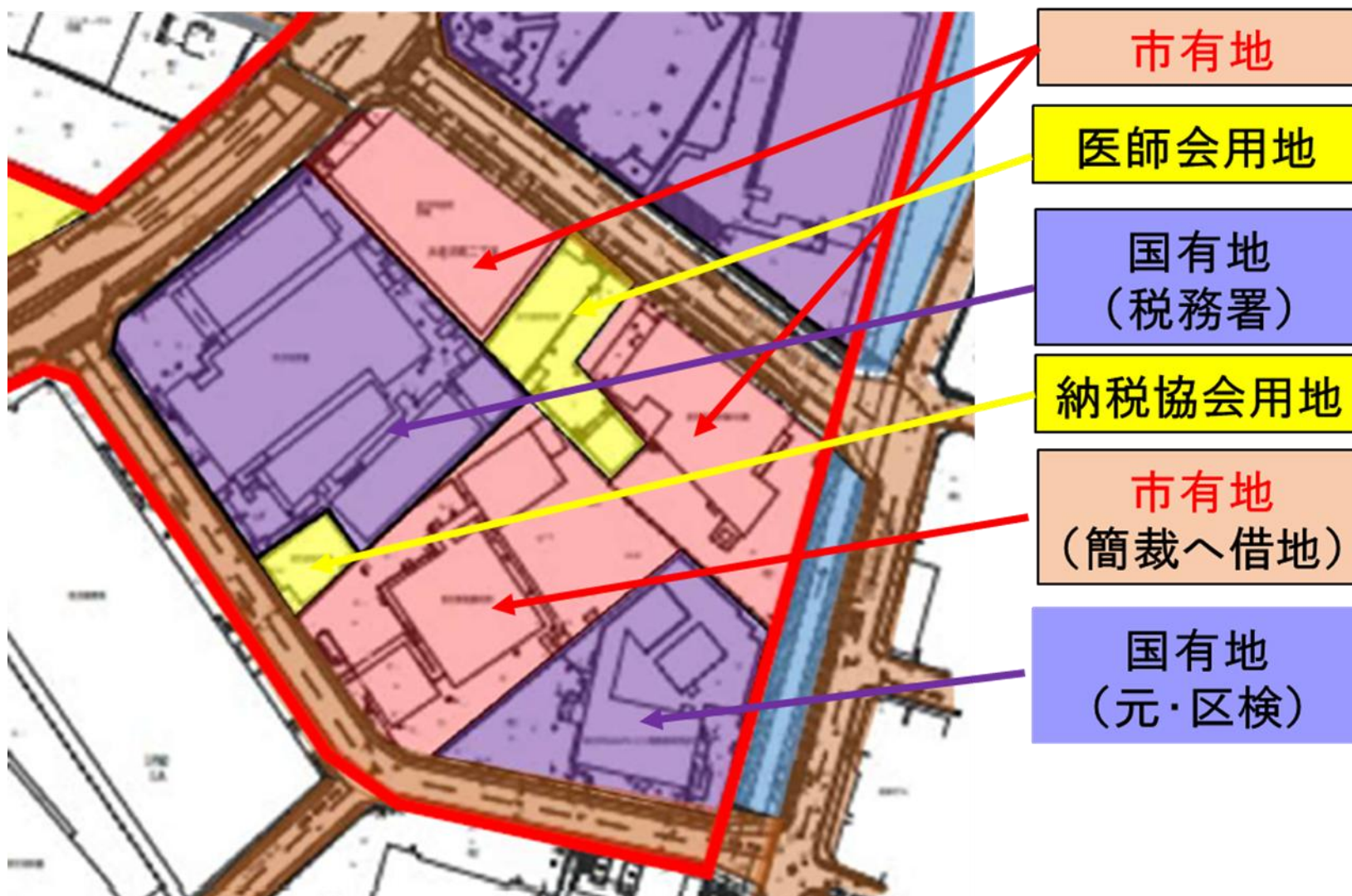
枚方市作成 ➡ 参考資料 1

- ・ 長屋など建蔽率が高く、小規模な木造等を含む家屋等が連坦する高密度な既成市街地
- ・ 大規模災害時の耐震性の確保や道路幅員が狭い

市はこのエリアの状況を新庁舎立地のデメリットとしか見ていない。新庁舎建設によって少しでも改善する方策を考えるべき

- ・ 主にRC造、鉄骨造などの建物
- ・ 中部土地区画整理事業により基盤整備と市街地を形成





※下図は、2025年 6 月 13 日付、枚方市(市駅周辺まち活性化部)からの提供図面